第53回　中国・四国地区
子ども会育成研究協議会(山口大会)

第５分科会
地域とのネットワークづくり
～地域と子ども会との関わり方の考察～

「地域づくりの現状と課題」

（やまぐち県民活動支援センター　伊藤）

お話の構成

１．自己紹介

２．まちづくりの現況、まちの課題把握

①これまでのやり方はこれから通じない

②多様な立場からまちの課題を把握する

３．(グループ討議の準備)地域との関係構築

1．自己紹介

【県民活動とは】

⇒　ボランティア・NPO・地域活動の総称

見守り活動

清掃活動

こども食堂

福祉ボランティア

災害ボランティア

寄附

令和5年度『県民活動白書』より

◆やまぐち県民活動支援センターの紹介

県民活動を支援する、山口県の機関（運営はNPO法人）

★情報サイトの運営
助成金や団体情報等を掲載

★活動に関する研修を開催

◆やまぐち県民活動支援センターの紹介

過去に開催した「地域づくり」に関する研修

住民アンケートの分析とフカボリで地域の未来を描く

地域を動かす未来づくり塾

平成31年3月22日金曜日　参加費無料（先着50名様）

地域づくり自治組織で住民アンケートをとった後、「○○は何％でした」という事実を報告することで止まっていませんか？「集計結果から地域のどんな状況が見えてくるか」分析・深堀りし言語化することで、事業の整理や改善、新たな事業づくりにいかすことができます。
地域内で中学生以上全住民アンケートを実施する際のプロセスや内容、設問設計、集計結果の読み取り方や実施後の展開など、全国の事例を用いて事例とともにそのノウハウをお伝えします。
すでにアンケートをとったけれど地域づくりへの活かし方が分からない、今からアンケートをとることを検討したい地域へおススメです。

時間　13時～16時　質疑等は16時以降17時まで

会場　山口県商工会館６階大会議室
山口市中央4丁目5-16
※駐車台数に限りがありますので、公共交通機関のご利用や乗り合わせでのご来場にご協力ください。

対象　地域づくり協議会などコミュニティ機関、行政機関、中間支援組織、地域づくりに関心のあるＮＰＯ、個人など

講師　斎藤主税（さいとう ちから）さん
NPO法人都岐沙羅パートナーズセンター 事務局長

【講師プロフィール】
1971年生まれ、新潟県出身。新潟大学大学院工学研究科修士課程修了。1996年から全国各地の都市計画や参加型まちづくりのコンサルティング業務に従事。2004年以後、NPOの立場から多様な地域づくり事業のプランニング・コーディネートに携わっている。
●小規模多機能自治に関する講演・研修会（全国各地／H28～）
●中間支援組織のコーディネート術に関する講演（市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）／H29）他　講演・研修実績多数
●地域運営組織の形成及び持続的な運営に関する研究会・委員（総務省／H26～）

お申込み・お問合せ
やまぐち県民活動支援センター　TEL：083-934-4666
申し込みは裏面をご覧ください　MAIL: yamas@mbs.sphere.ne.jp

○地域の未来を地域のたくさんの人と考えたい！
○市域より狭い地域の未来人口予測データを作りたい！　こんなこと思ったことありませんか？

やまぐち県民活動支援センター主催

～進めようとすると壁がある地域づくりを何とかしたい人のための～

地域の未来人口推計
データの作り方・活用法

講師：やまぐち県民活動支援センター　職員　千々松葉子

【内容】
市域より狭い地域の未来人口予測データの作り方・利用法をレクチャーします。
来場者にはあらかじめ準備した希望する市町の過去の国勢調査等基礎データが入ったエクセルファイルをお渡しします。
※推計するのは平成 2045 年までの５年毎の０歳から 90 歳までの５歳階級別と 90 歳以上の、男女別人口データです。
※利用するのは国立社会保障・人口問題研究所のパラメーターを用いコーホート要因法で国の機関が算出したデータです。

【持参するもの】
・エクセルなど表計算ソフトが入っているノートパソコン・タブレット(スマホは不可)

【対象】
・地域づくりや自治会など地域活動に関わっている方、支援する立場の方、行政職員など
・持参するノートパソコンに入っているエクセルなど表計算ソフトの使い方が分かる方

日　時：2019 年１月１８日（金）10:00 - 13:00
13 時 15 分~15 時同じ会場で地域づくりのボランティアに関する情報交換会を行います。
希望者は申込時に「ボランティア交流会も参加」とご記入・ご連絡ください。
会　場：やまぐち県民活動支援センター交流コーナー（山口市神田町 1-80 パルトピアやまぐち２階）
参加費：無料　　定員：10 名程度
申　込：下記に所属・役職・お名前・電話番号をメールまたはお電話ください
締　切：2019 年１月１５日(火)まで

お申込み・問合わせ先　やまぐち県民活動支援センター
〒753-0064　山口県山口市神田町 1-80 防長青年館（パルトピアやまぐち）２階
TEL：083-934-4666　FAX：083-934-4667　メール：yamas@mbs.sphere.ne.jp

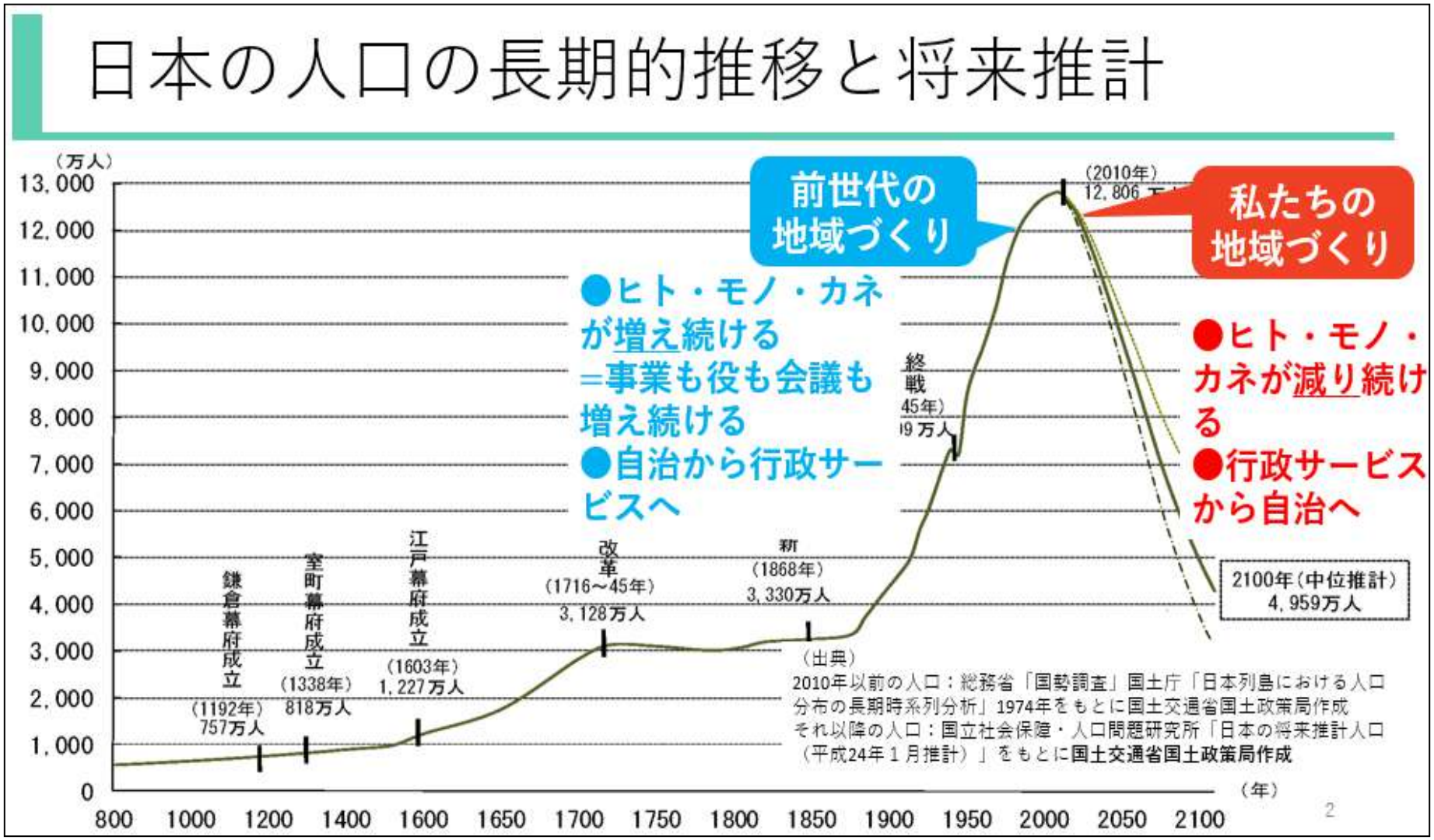
◆やまぐち県民活動支援センターの紹介

過去に開催した「地域づくり」に関する研修

2015年1月	IIHOE　川北秀人さん	自治を回復し、まち・むらの課題を、まち・むらの力で解決するために～協働と総働の基礎を再確認する～	小規模多機能自治
2016年2月	IIHOE　川北秀人さん	自治を回復し、まち・むらの課題を、まち・むらの力で解決するためにと、全国の地域づくり事例	小規模多機能自治 山口県の人口・財務データなど
2016年3月	千々松葉子（センター職員）	我がまちのデータを作ろう！人口統計データ活用勉強会	J-statmap・国勢調査データ
2017年3月	IIHOE　川北秀人さん	自治を回復し、まち・むらの課題を、まち・むらの力で解決するために～総働と小規模多機能自治のすすめ	小規模多機能自治
2017年3月	NPO法人都岐沙羅パートナーズセンター 斎藤主税さん	「住民参画のまちづくり」が進む！使えるノウハウ獲得セミナー	町丁目・集落単位の人口構成 住民ニーズが浮かび上がるアンケート方法・分析と、行事・会議の棚卸し
2017年11月	NPO法人岡山NPOセンター 石原達也さん	地域のための戦略会議～数える・調べる・共有する～その先へ	小規模多機能自治 全住民アンケート　他
2019年2月	千々松葉子（センター職員）	地域の未来人口推計 データの作り方・活用法	未来人口推計データ
2019年3月	NPO法人都岐沙羅パートナーズセンター 斎藤主税さん	住民アンケートの分析とフカボリで地域の未来を描く地域を動かす未来づくり塾	中学生以上全住民アンケート
2020年2月	里山くらしLABO 池田水穂子さん	～進めたいけど壁がある地域づくりのための～ 地域課題のワガコト化と住民自治組織の変革の進め方	中学生以上全住民アンケート ワガゴト化
2020年9月	有限責任事業組合まぢラボ 山賀昌子さん	「まちなか」の地域づくりの課題と組織の見直しを学ぶ	中学生以上全住民アンケート 行事と会議と役の棚卸/引き継ぎ書
2021年7月	佐藤幸枝さん 宮城県白石市） 今田亜樹さん（新潟県妙高市）	～コロナ禍だからこそ進める地域の組織運営改革～ 地域づくり見直すための「事業と会議と役の棚卸」	行事と会議と役の棚卸
2022年3月	岩本剛さん(熊本県氷川町)	中学生・高校生を巻き込んだ地域づくり	地域づくりの事例

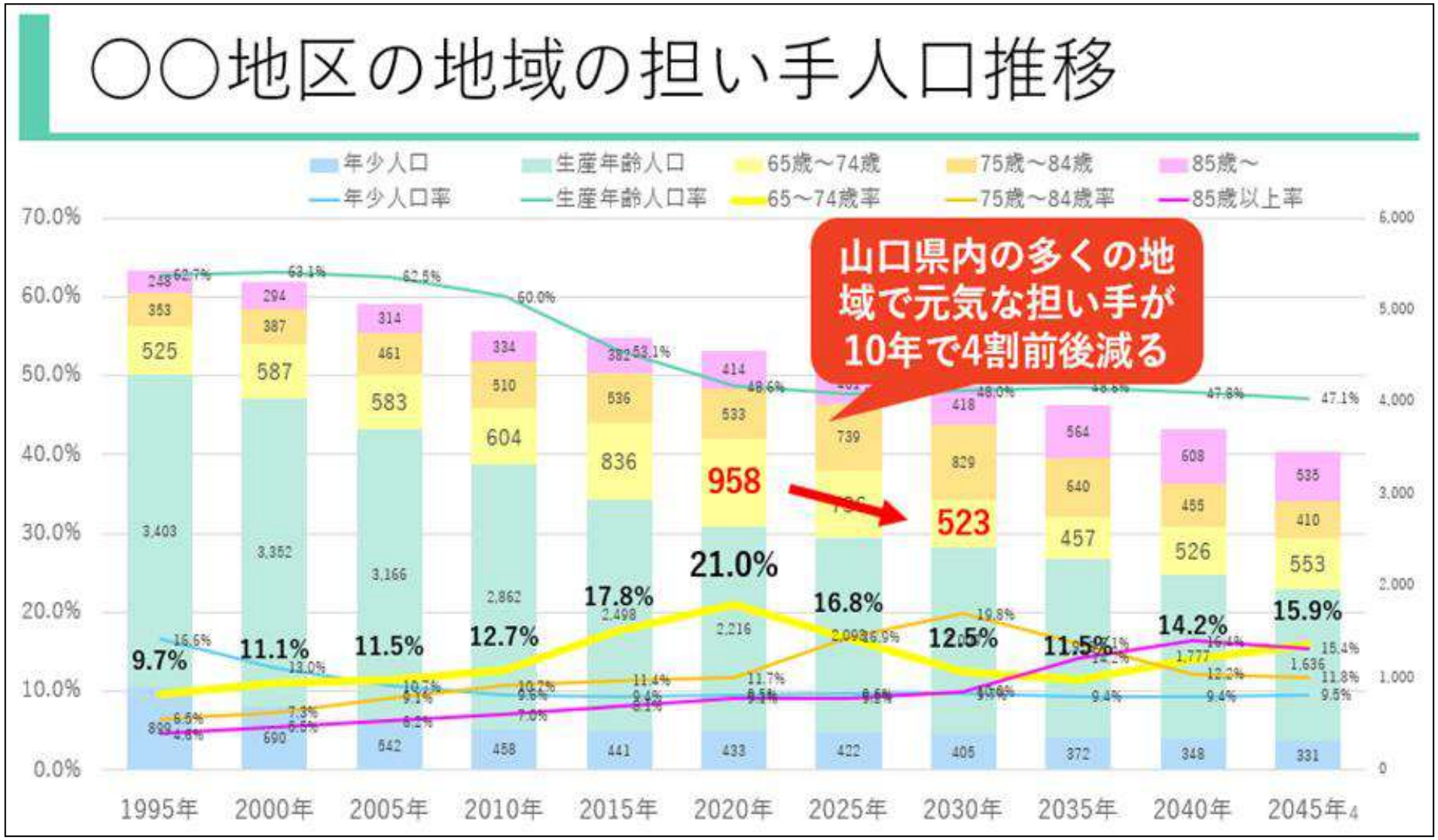
ローカルラボ　千々松葉子氏　作成

2. まちづくりの現況、まちの課題
①これまでのやり方はこれからは通じない



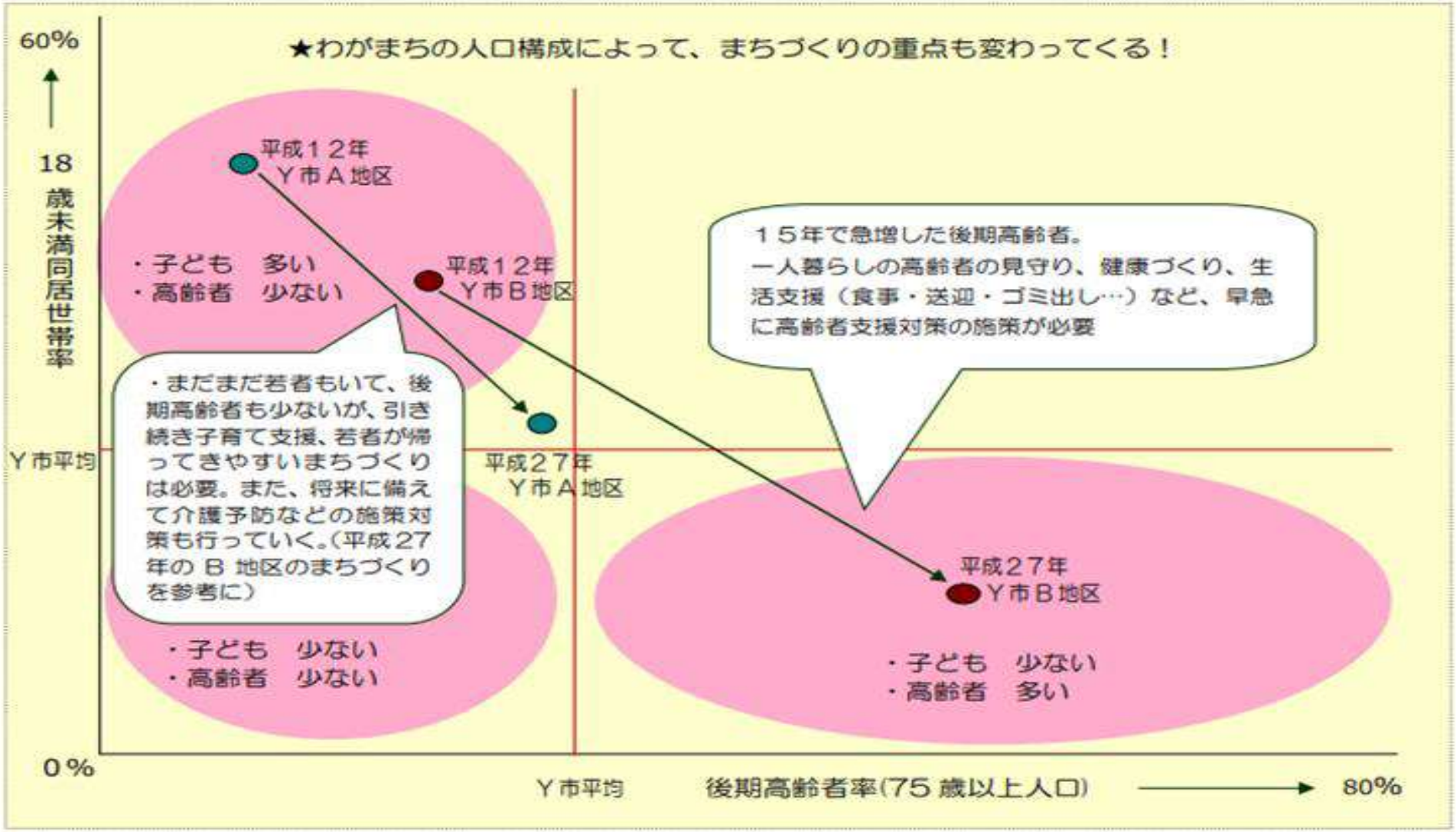
ローカルラボ　千々松葉子氏　作成

2. まちづくりの現況、まちの課題
①これまでのやり方はこれからは通じない



ローカルラボ　千々松葉子氏　作成

2. まちづくりの現況、まちの課題
①これまでのやり方はこれからは通じない



IIHOE『ソシオマネジメントVol.3　小規模多機能自治』を参考に県民センターで作成

2. まちづくりの現況、まちの課題
②多様な立場からのまちの課題を把握する

住民アンケートづくりのポイント

1．全住民アンケートのすすめ

＜全住民アンケート＞

○18歳未満も含めたすべての地域住民に対し、アンケートを実施

○例えば1世帯に対し、家族分の個人アンケートを配布・回収

↓

○性別・各年代のそれぞれの思いを把握できる

＜従来の世帯アンケート＞

○1世帯に1つのアンケート配布

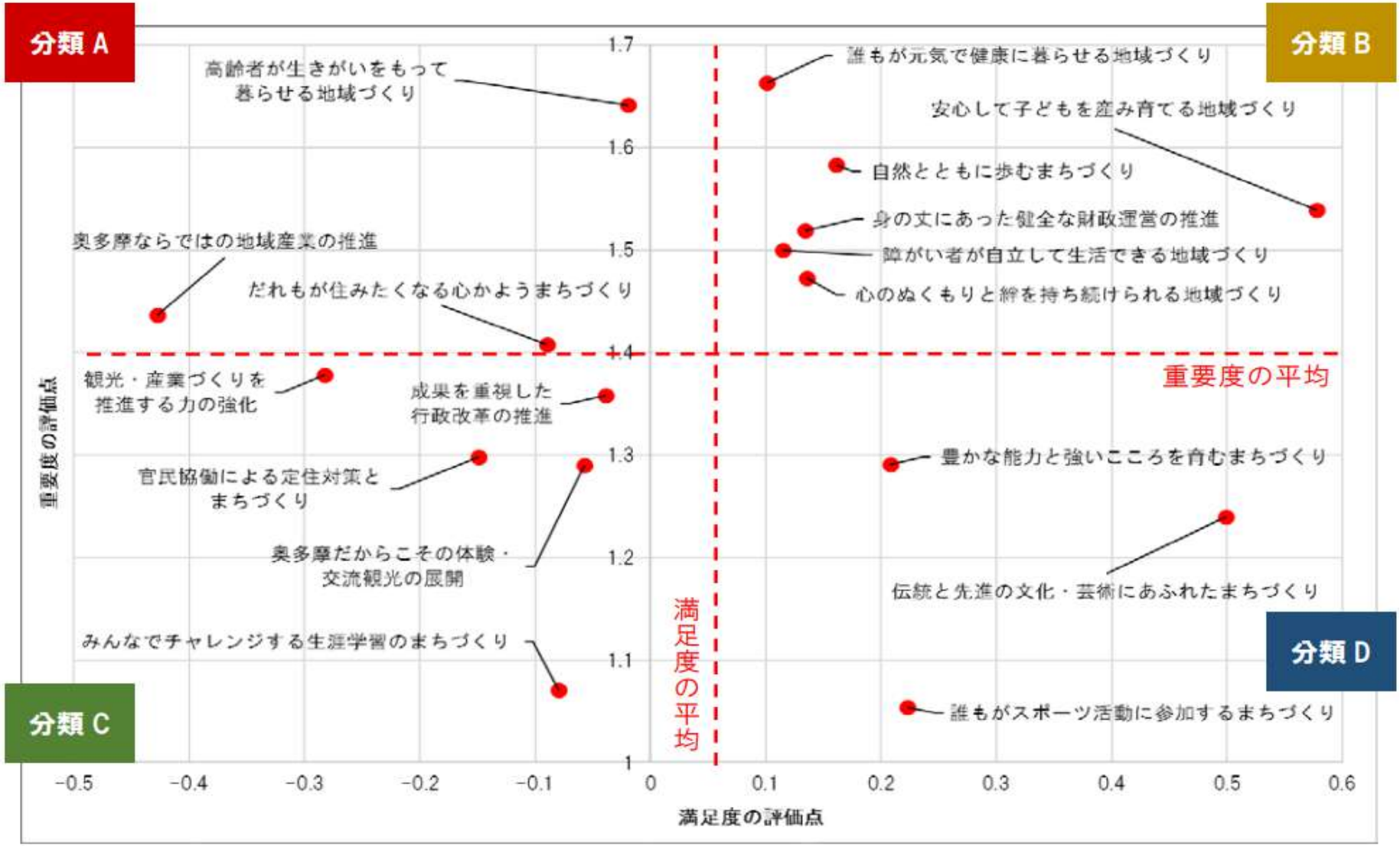
○回答するのは世帯を代表する世帯員（多くの場合、世帯主）

↓

○世帯主の意見が「地域の声」となり、住民全員の思いを把握できない

島根県HP「しまねの郷づくり応援サイト」より

2. まちづくりの現況、まちの課題
②多様な立場からのまちの課題を把握する



奥多摩町HP『令和元年度奥多摩町まちづくり住民アンケート調査結果報告書」より

３．地域との関係構築

◆地域との関係づくりの「接点」は？
「接点」から関係づくりをイメージする

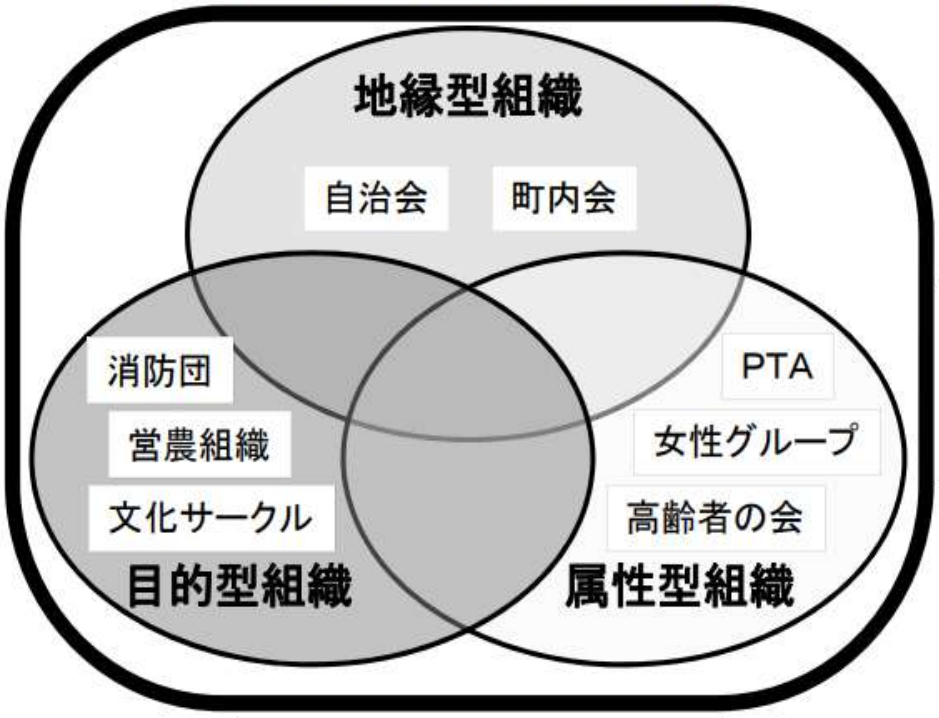
接点①　「地域課題」からイメージ

接点②　「子どもの社会参画
・アクティブラーニング」から
イメージ

接点①　「地域課題」からイメージ

◆まちづくりのモデル「小規模多機能自治」

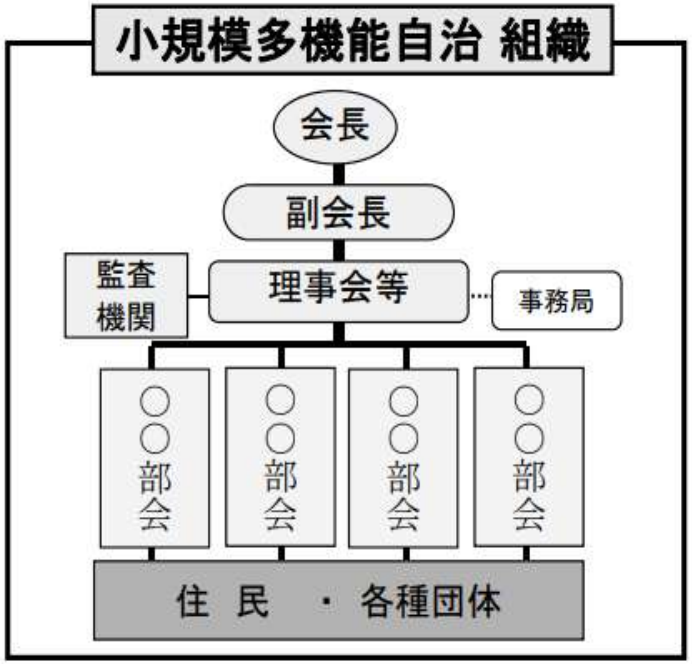
概ね（小）学校区域で
あらゆる団体が結集



～考え方～

“1世帯1票制”
ではなく
“1人1票制”

地域の総力を結集し、
地域課題を自ら解決！



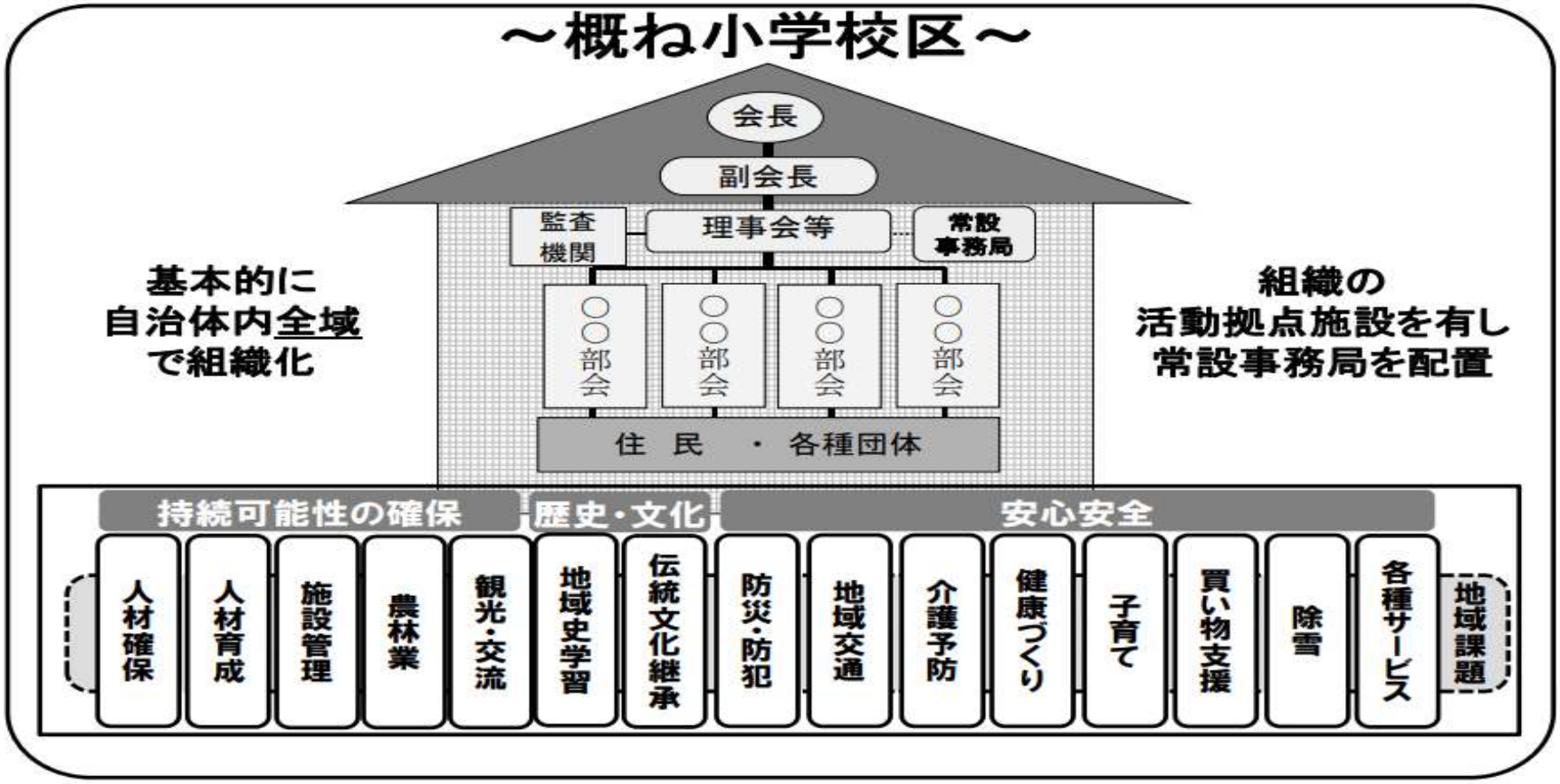
地域の経営体
（住民自治のプラットホーム）

総務省HP『小規模多機能自治の状況と制度上の課題』より

接点①　「地域課題」からイメージ

◆まちづくりのモデル「小規模多機能自治」

組織＆拠点施設＆常設事務局



地域課題を、住民自らが、事業化して解決！

総務省HP『小規模多機能自治の状況と制度上の課題』より

接点①「地域課題」からイメージ

地域課題

その課題に関連する組織
×
うちの子ども会でできること

連携・つながる「接点」

接点①「地域課題」からイメージ

◆ある地域課題の関連機関と連携を模索

接点② 「子どもの社会参画・アクティブラーニング」からイメージ

◆既存の事例を参考にする

○町内会の防災訓練
　＆　子ども会の野外キャンプ
○地区社会協議会が主催する
　三世代交流事業に参加
○子ども会行事の企画・運営に
　子どもが参画
　（企画次第で連携先を発想！？）

３．地域との関係構築

◆地域との関係づくりの「接点」は？
「接点」から関係づくりをイメージする

接点①　「地域課題」からイメージ

接点②　「子どもの社会参画
・アクティブラーニング」から
イメージ